



1階リハビリテーション室横に『地域医療連携室』があります。

院内で唯一、1ページ目の記事の『地域包括ケア』という言葉にある「地域」の2文字がはいる部署です。所属しているのは、社会福祉士を基礎資格とする「医療ソーシャルワーカー」が6名、「入退院支援看護師」が1名の計7名です。同室内には、同一法人の「居宅介護支援事業所 しんえい」のケアマネジャー3名もおりますので、日常的に医療や介護に関して情報交換をしながら業務にあたっています。

「医療ソーシャルワーカー」という言葉だけだと、具体的な業務内容がわかりにくいのですが、厚生労働省から業務指針として示されている業務内容は、上の6つです。書き出してみると、漢字ばかりで堅苦しいですね……。ただ、これらの業務を行う目的・ゴールは、『地域』に住む方（患者様はもちろん、そのご家族も含めて）の『よりよい生活』です。医療現場にいらながらも、治療やリハビリを行うことはできませんが、『地域』に住む方が生活していくことのお手伝いをさせて頂くのが我々の仕事です。

当連携室では入院中の患者様一人ひとりに担当職員がついて、必要時にご相談に乗らせて頂いています。どんな小さなことでも、誰に話したらいいかわからないことでもかまいません。何か困りごとなどありましたら、どうぞお声掛け下さいね。

次号以降も、当連携室の日々の業務内容や『地域』に関する情報などをお伝えします!!

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1</b> 療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助</p> <p><b>2</b> 退院援助</p> <p><b>3</b> 社会復帰援助</p> | <p><b>4</b> 受診・受療援助</p> <p><b>5</b> 経済的問題の解決、調整援助</p> <p><b>6</b> 地域活動</p> |
|---|--|



後列左から

- 北野（1年目の新人ソーシャルワーカーです）
- 相川（このぽかぽか通信の編集もしています）
- 橋本（ケアマネジャーも兼務しています）
- 不動（知識豊富で行動力もある頼れる『室長』です）

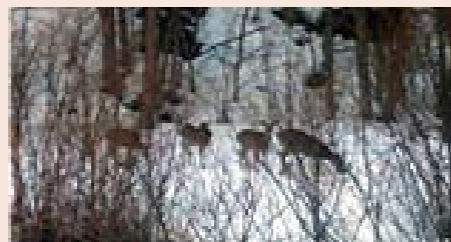
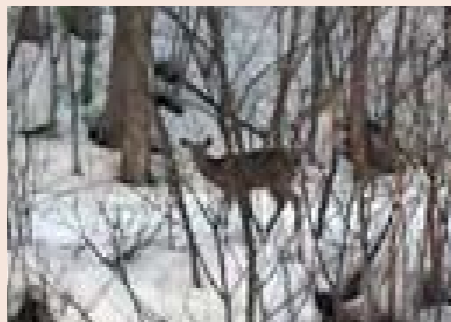
前列左から

- 木村（当連携室で唯一の看護師で入退院を支援しています）
- 中山（一般から回復期まで幅広く担当しています）
- 大藤（回復期リハビリ病棟専従のソーシャルワーカーです）

## 編集後記

諸事情から発行が遅くなっておりましたぽかぽか通信ですが、今後とも一人でも多くの方の目に届くよう、魅力ある紙面作りに努めて参ります。

右の写真は、3月初旬のある日、当院裏に姿を見せたエゾシカです。195万人以上が生活する札幌市内にあるとは思えない自然豊かな当院です。



 医療法人 尚仁会

## 真栄病院

リハビリテーション科・内科・神経内科  
TEL.011-883-1122  
FAX.011-883-0111  
受付時間/平日 9:00~12:15

介護療養型老人保健施設

## しんえいの杜

面会時間/10:00~20:00  
TEL.011-886-7688  
FAX.011-886-7687

〒004-0839 札幌市清田区真栄 331 番地

# ぽかぽか通信

発行/真栄病院・しんえいの杜 編集/ぽかぽか通信編集局

76号

Spring

平成29年6月

## 『地域包括ケア』と真栄病院

ここ数年、『地域包括ケア』という言葉が、医療や福祉の現場で合言葉のように使われています。高齢者をはじめ、病気や障がいのある方など、さまざまな困りごとを抱えて生活している方を、行政や病院、福祉関係の事業所などが制度上の『垣根』を越えて、その『地域』を『包括』的に『ケア』していくという考え方です。と言ってもつかみどころのない話でわかりにくいかもしれませんが、ニュースなどで【ニッポン一億総活躍プラン】という言葉を目にしたことはありませんか？それをもとに厚生労働省には【「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部】という組織が立ち上げられています。これからの超高齢社会には、「他人事」になりがちな『地域』づくりを、地域住民が「我が事」として自ら考え行動しながら進めていく必要があり、そのためには「高齢者」「障害者」「子ども」「生活困窮」「医療」・・・と従来の「縦割り」の制度やサービスを「丸ごと」へ転換していく必要があると、国が動きだしているのです。

やや硬い文章になってしまいましたが、医療の現場である病院にも、今までのような「受診・入院された患者様を治療する」という内向きなことだけではなく、もっともっと『地域』へ出向く、もしくは『地域』にとって開かれた場所になるような取り組みが求められています。当院としても、これから大切にしていきたいテーマであり、院内でも先駆けて当院院長が、地域での講演や学会報告などを積極的に行っています。今後も、当院から『地域』にむけた様々な活動を、この《ぽかぽか通信》を通してご報告していきます。

## 院長の活動報告（平成28年～29年にかけて）

- 平成28年
  - 4月23日 2016年度 北海道慢性期医療協会 講演会（札幌）  
今後の地域医療連携を考える～慢性期医療機関の立場から～
  - 5月21日 東北慢性期医療栄養学術講演会（仙台）  
医療療養病床から地域包括ケア病床への移行例として
  - 10月27日 第24回日本慢性期医療学会（金沢）  
療養病床を地域包括ケア病床として地域で活かす  
～地域療養型を目指して～
  - 11月5日 札幌市医師会清田支部主催（清田区民センター）  
高齢化時代を支える清田区の医療と介護  
慢性期の医療ってどんなこと?? 地域包括ケア病棟ってナニ??
- 平成29年
  - 2月8日 清田区在宅ケア連絡会主催（清田区民センター）  
現場に役立つ事例検討会
  - 3月2日 北野地区連合会館にて  
北野地区における認知症講座～認知症になってもいきいきと暮らす～

